

# 第5回 ボールのマーク達

突然ですが、こちらのマークをご存じだろうか。



ボールにはPIN、CGと呼ばれるマークが必ずあり、ボールによってはMBと呼ばれるものが存在する。

では、これらのマークの意味するものとは一体何なのだろうか。今回は、その謎にせまる。

## その1 PIN

これは、ボールの内部に存在する「コア」の位置及び向きを示すマークである。

球体であるボールの中にコアがどのような向きで存在しているのか、透けているわけではないのでわからない。

しかし、このマークの存在がそれを示してくれる。

コアの頭の部分が、このPINの真下に存在しているのだ。すなわち、PINを真上にした時、コアも真上に向きしている。

よって、このマークを基準にし、コアを傾けてドリルをしてあげることでねじれを生み出し、ボールが曲がるという現象がおきるのである。

## その2 CG

これは、ボールの重心（質量中心）を表すマークである。

コアが真っ直ぐ配置されているときは、PINの部分にこのマークがくるはずなのだが、作業工程内でコアの配置にズレが生じるため大

体離れた所に存在する。  
コアやカバーストックなどの偏りを加味して考えた時、このマーク

を中心にとると、前後左右の重さの差が0になる。

ボウリングにはルールがあり、1.5ポンドのボールでは前後と左右での重さの差を1オンス（28g）以内にはしないとしない。

なので、基本的にはこのマークはフィンガーとサムの間位置するようドリルをするのだが、測定後1オンスをオーバーするようならエキストラホールを掘って重さの調整を行う。

ひと昔前は、右利きならばこのCGを右にすればするだけ曲がると言われていた時代があったが、ルール上左右差を28g以内にはないとしないので、7kg弱あるボールの28gなどボールのどこにあるかと曲がりによって影響しないことが科学的に証明されている。

## その3 MB

これは、非対称コアにだけ存在する「マスバイアス」と呼ばれるマークである。またPSAともいう。

簡潔に説明するならば、PINから6・3/4インチの部分に存在し、このマークを配置する場所によって、ボールの起き上がり速さを微調整できるというものである。

あくまで微調整なので、機械で測定しないと、どうこうという変化はわからないレベルである。

しかしながら、この微調整によってボールの扱いやすさが大きく変わることもある重要なマークである。

ボールにあるマークはそれぞれ重要な意味を持っている。

<筆者>



猫をこよなく愛し  
猫に愛されたい  
とあるボウラー

<好きなもの>  
にゃんこ